



2022年5月9日

各 位

会 社 名 アイフル株式会社
 代 表 名 代表取締役社長 福田 光秀
 (コード番号: 8515 東証プライム市場)
 問 合 せ 先 財務副本部長 安藤 俊明
 T E L 03-4503-6050

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年11月10日に公表しました2022年3月期の連結業績予想、および2021年5月12日に公表しました2022年3月期の個別業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 連結

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回業績予想 (A)	131,800	24,100	24,300	23,100	47.76
今回修正予想 (B)	132,000	11,200	12,200	12,300	25.43
増減額 (B) - (A)	200	▲12,900	▲12,100	▲10,800	—
増減率 (%)	0.2	▲53.5	▲49.8	▲46.8	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	127,481	17,530	19,305	18,437	38.12

(2) 個別

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回業績予想 (A)	81,900	16,100	17,700	17,000	35.15
今回修正予想 (B)	83,100	4,700	6,700	7,900	16.33
増減額 (B) - (A)	1,200	▲11,400	▲11,000	▲9,100	—
増減率 (%)	1.5	▲70.8	▲62.1	▲53.5	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	78,826	10,473	11,973	9,583	19.81

2. 修正の理由

【連結】

前回発表した予想に対する営業収益は、概ね計画通りの1,320億円となる見込みです。営業費用は、金融費用、貸倒関連費用が計画を下回ったものの、足もとの利息返還請求の動向などを勘案し、209億円の利息返還にかかる引当金の追加繰入（うち利息返還損失引当金199億円、利息返還にかかる債権放棄引当金10億円）を行うことから、1,208億円となる見込みです。

この結果、営業利益は112億円（前回予想比129億円減）、経常利益は122億円（同121億円減）となる見込みです。

また、今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討し、回収が見込まれる部分について繰延税金資産を計上した結果、法人税等調整額に△33億円（△は利益）を計上することを主な要因として、親会社

株主に帰属する当期純利益は123億円（同108億円減）となる見込みです。

【個別】

前回発表した予想に対する営業収益は、当社の主力事業であるローン事業を始めとした各事業が引き続き順調に推移していることを主な要因として831億円（前回予想比12億円増）となる見通しです。営業費用は、金融費用、貸倒関連費用、人件費が計画を下回ったものの、足もとの利息返還請求の動向などを勘案し、180億円の利息返還にかかる引当金の追加繰入（うち利息返還損失引当金172億円、利息返還にかかる債権放棄引当金7億円）を行うことから、783億円となる見込みです。

この結果、営業利益は47億円（前回予想比114億円減）、経常利益は67億円（同110億円減）となる見込みです。

また、今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討し、回収が見込まれる部分について繰延税金資産を計上した結果、法人税等調整額に△31億円（△は利益）を計上することを主な要因として、当期純利益は79億円（同91億円減）となる見込みです。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づく見通しであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上